

ARCLANDS

アー克兰ズ株式会社

東証プライム [証券コード：9842] 2023年1月13日

2022年度 第3四半期

決算説明資料

売上高

2,370億円
前期比：96.5%

経常利益

162億円
前期比：87.1%

※前期比は決算期の変更及び「収益認識に関する会計基準」等の適用により参考値となります。

小売事業

21年度と22年度で対象期間が異なる

ビバホーム (2022/3/1~11/30)

…21年度3Qは2021/1/1~9/30



アークランドサカモト (2022/3/1~11/30)

…21年度3Qは2021/2/21~11/20

外食事業

アークランドサービス (2022/1/1~9/30)

- ・主力商品の訴求強化
 - ・テイクアウトの利便性向上
 - ・販売促進
- ▶ 圧倒的な商品力
テイクアウトの強化

「収益認識に関する会計基準」等の適用による影響額
(単位：億円)

	2022年度3Q連結
売上高	-62.2
売上総利益	-9.1
販売管理費	-9.7
営業利益	+0.6
経常利益	+0.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	+0.4

9/30時点店舗数

- かつや : 512店舗 (出店数15、退店数2)
- からやま/縁 : 178店舗 (出店数14、退店数13)
- その他 : 60店舗 (出店数5、退店数14)

通期業績予想の修正について

当期連結業績予想の修正（2022年3月1日～2023年2月28日）

単位：億円

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	前回発表予想比 (%)	(参考) 前期実績
売上高	3,300	3,160	-140	95.8	3,571
売上総利益	1,275	1,185	-90	92.9	1,305
営業収入	136	136	-0	99.6	139
営業総利益	1,412	1,321	-91	93.5	1,444
販売費及び一般管理費	1,155	1,124	-31	97.3	1,235
営業利益	256	197	-59	76.8	209
経常利益	250	200	-50	80.0	232
親会社株主に帰属する 当期純利益	140	105	-35	75.0	163

修正の理由

売上高	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和を主要因とした家中需要の減少・アクリルパーテーション等の感染症対策用品の需要の一巡
売上総利益	<ul style="list-style-type: none">・上海のロックダウンによるプライベートブランドの欠品・急激な円安の進行等による物価高
販売費及び一般管理費	<ul style="list-style-type: none">・水道光熱費の大幅な上昇

連結損益計算書

(単位:億円・%)

	2022年度3Q累計期間					
	連結	構成比	前期比※1	ムサシ等	参考※2 ビバホーム等	アークランド サービス
売上高	2,370	100.0	96.5	586	1,440	342
売上総利益	893	37.7	98.2	199	513	174
営業収入	102	4.3	114.6	26	74	-
営業総利益	996	42.0	99.6	225	587	174
販売費及び 一般管理費	839	35.4	100.8	165	519	138
営業利益	156	6.6	94.0	60	68	36
経常利益	162	6.9	87.1	69	62	41
親会社株主に 帰属する四半期純利益	93	3.9	55.1	-	-	25

ビバホーム買収に伴うのれん等償却費（2021年度3Q 約14億円、2022年度3Q 約14億円）

※1 決算期の変更及び「収益認識に関する会計基準」等の適用により参考値となります。

※2 ムサシ等：旧アークランドサカモト(株)の店舗等合計、ビバホーム等：旧(株)ビバホームの店舗等合計（連結調整前）

セグメント別 営業収益（売上高＋営業収入）及び営業利益

(単位:億円・%)

	2021年度3Q累計期間		2022年度3Q累計期間		前期比※1	
	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益	営業収益	営業利益
小売事業	2,076	102	1,982	87	95.4	85.6
卸売事業	56	5	44	6	79.8	122.0
外食事業	323	36	342	36	105.9	100.9
不動産事業	83	22	96	25	115.2	112.7
その他※2	6	0	6	0	104.0	414.7
連結	2,546	166	2,472	156	97.1	94.0

※1 決算期の変更及び、「収益認識に関する会計基準」等の適用により参考値となります。

※2 その他：フィットネス事業

小売事業 品目別売上高

(単位:億円・%)

	2022年度3Q累計期間					
	連結		ムサシ等 ^{※1}		ビバホーム等 ^{※1}	
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
ホームセンター 部門合計	1,909	100.0	465	100.0	1,422	100.0
DIY関連商品	683	35.8	136	29.3	525	36.9
家庭用品	615	32.2	139	30.1	475	33.4
カー・レジャー用品	155	8.2	52	11.2	103	7.3
ペット・園芸用品	453	23.8	135	29.2	317	22.4
その他 ^{※2}	0	0.0	1	0.2	0	0.0
その他小売部門^{※3}	69		51		13	

ムサシ：DIY関連品を中心に業者向け商材を強化。ビバホームPBの取扱い拡大。
 ビバホーム：ペット、プロショップ等専門店化の推進。飲料・酒類の導入等一般向け商品の強化。

※1 ムサシ等：旧アーランドサカモト(株)の店舗等合計、ビバホーム等：旧(株)ビバホームの店舗等合計（連結調整前）

※2 その他：FCロイヤリティ等

※3 その他小売部門：食品館、アート&クラフト専門店、インターネット事業、海外事業

連結貸借対照表

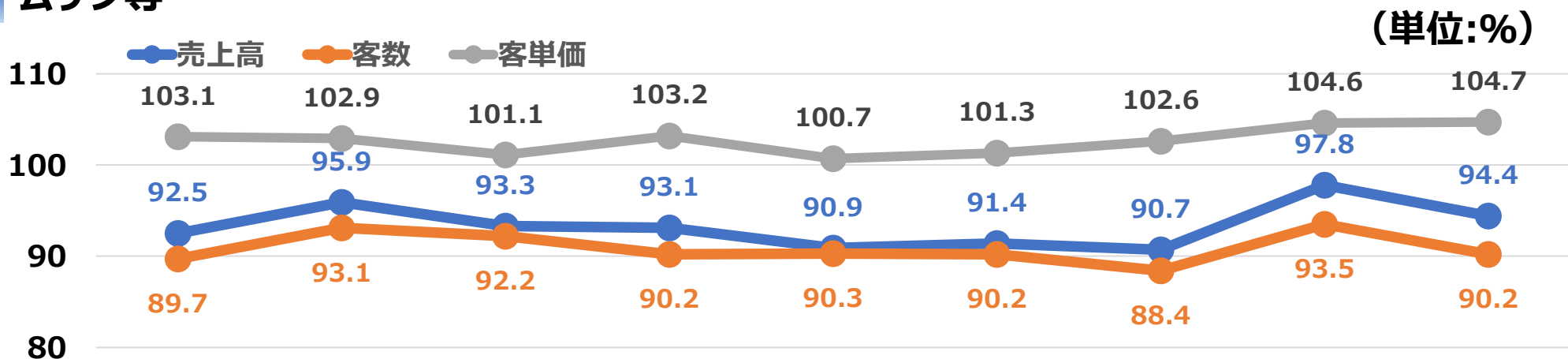
(単位:億円)

	2021年度末	2022年度3Q	増減	主な増減要因
流動資産	969	976	6	
商品及び製品	505	573	68	
固定資産	2,747	2,714	-33	
有形固定資産	2,012	1,988	-24	
無形固定資産	368	350	-18	のれん償却-11、商標権-3
資産合計	3,717	3,690	-27	
流動負債	1,470	1,136	-333	
買掛金及び電子記録債務	447	410	-36	
短期借入金	561	400	-161	長期借入金への借換え
1年内返済長期借入金	270	100	-170	
固定負債	1,173	1,389	216	
長期借入金	565	807	242	短期借入金からの借換え
負債合計	2,643	2,526	-117	
純資産合計	1,074	1,164	89	
負債純資産合計	3,717	3,690	-27	

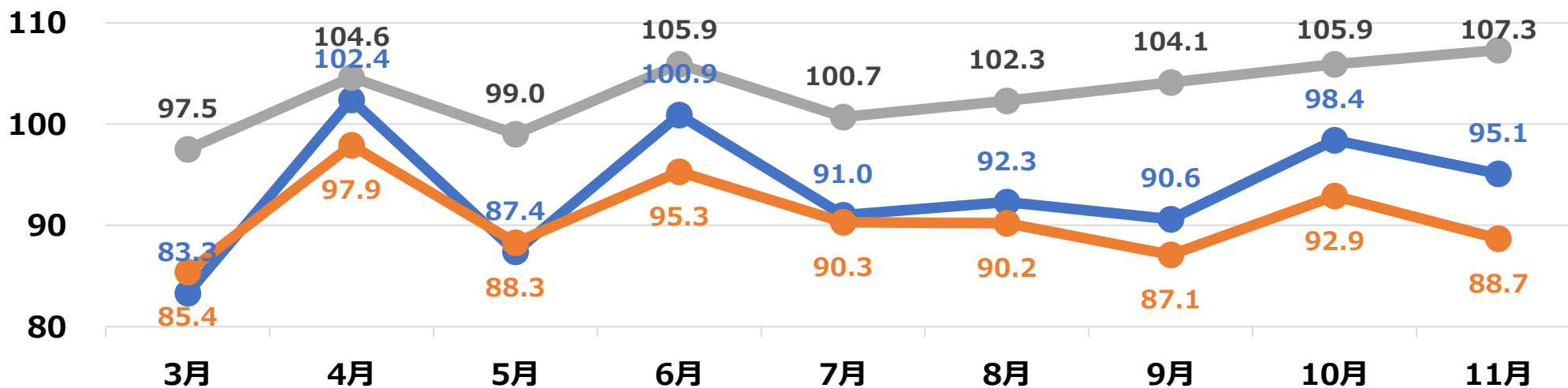
參考資料

既存店売上高 前年同月比

ムサシ等



ビバホーム等



※ ムサシ等：旧アーランドサカモト(株)の既存店、ビバホーム等：旧(株)ビバホームの既存店

PB売上構成比

	3Q累計	前年差
ムサシ	13.4%	+0.4
ビバホーム	25.4%	-3.0

PB商品の共有

	累計
ビバホーム⇒ムサシ	約4,000SKU

新規商品例



統一ブランドWIZ'Aの充電ツールシリーズを10月に発売

ムサシ：ビバホームのPB導入により前年差 +0.4%

ビバホーム：上海のロックダウンの影響及び低効率商品の見直しで前年差-3.0%

既存PB商品の統一：23年3月末までに5,000SKU、8月末までに完全統一

新店：スーパービバホーム八王子多摩美大前店



ヤマダHDとの共同出店2号店。ホームセンターに加え、リフォーム、ペット、アート&クラフト専門店を出店。

専門化：NICO PET富山店



・10店舗目となるNICO PET

リニューアル：住DEPOT新発田店



・全面リニューアル、中古買取販売で差別化

小売事業店舗数の増減

	2021年度 期末合計	2022年度3Q		2022年度期末（予定）	
		21年度末 からの増減	合計	3Q末 からの増減	合計
ホームセンター	145	0	145	-1	144
ホームセンタームサシ	38	0	38	0	38
スーパービバホーム	63	+1	64	-1	63
ビバホーム	44	-1	43	0	43
専門店	73	+6	79	0	79
NICO PET	7	+3	10	+1	11
リフォーム （アークホーム、R&D）	49	+1	50	0	50
アート&クラフト （アークオアシス、ヴィシース）	13	+1	14	-1	13
プロショップ （ムサシプロ・住デポ、ビバホームプロ）	4	+1	5	0	5
その他※	23	-1	22	-1	21
小売店舗合計	241	+5	246	-2	244

※ その他：食品館、キャンプギア、ドトール、ハウステコ

当社協賛エコイベントの開催



11月5日（土）ミズベリング三条にて
当社協賛のエコイベント「チームエコワーク」を開催
一般参加者とともに緑化活動を実施



災害協定拡大：累計84件

緊急時における物資の供給に関する
協定締結式

深谷市・クランズ株式会社



右：深谷市 小島 進市長
左：当社常務取締役 星野 宏之

直近の締結先

10月：深谷市、水戸市 11月本庄市

商品開発における資源の有効活用

国産ヒノキの間伐材を
活用した鉛筆。
23年2月発売予定。



くらし、満たす。こころ、満たす。

ARCLANDS

本資料は、企業情報の提供のために作成されたものであり、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載されております、将来の業績見通しに関する事項については、開示時点において当社が入手している情報に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。

従いまして、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。